

山形県感染症発生情報

第30週(平成22年7月26日～平成22年8月1日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	3	△	
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	1	△	
咽頭結膜炎	11	△	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	▼	
感染性胃腸炎	85	△	多発中
水痘	24	▼	
手足口病	118	▼	多発中
伝染性紅斑	17	▽	
突発性発しん	19	▽	
百日咳	0		
ヘルパンギーナ	273	▼	多発中
流行性耳下腺炎	20	△	
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	1	▽	
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	0		
細菌性髄膜炎	0		
マイコプラズマ肺炎	0	▼	
無菌性髄膜炎	1	△	

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*平成22年1月～)	
	第30週	1週前	2週前		
2類感染症	結核	3	1	2	81
3類感染症	コレラ	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	0	7	1	22
	バラチフス	0	0	0	0
4.5類感染症	E型肝炎	0	0	0	1
	A型肝炎	0	0	0	1
	オウム病	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	3
	ライム病	0	0	0	0
	レジオネラ症	2	0	1	6
	アモeba赤痢	0	0	0	3
	ウイルス性肝炎	0	0	0	1
	急性脳炎	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	1
	後天性免疫不全症候群	0	0	1	1
	ジアルジア症	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0
	破傷風	0	0	0	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	2
	風しん	0	0	0	0
	麻疹	0	0	0	2

- ヘルパンギーナが、県内全域で流行している。第28週をピークに減少してきているが、依然として4地区ともに警報基準値(6.0人)を超えている。患者は、1歳をピークとし、1～5歳が大半を占めている。(報告が多い定点 高畠町:19.0人、米沢市:16.5人、鶴岡市:13.0人、東根市:13.0人、天童市:10.5人、南陽市:10.0人、山形市:8.5人、新庄市:8.3人、西村山地区:7.0人、長井市:6.0人、山辺町:6.0人)
- 手足口病は、庄内地区を除く3地区で流行している。置賜地区では、ピーク時(第28週)から約6割減少しているが、他の地区に比べ多発している。置賜地区と村山地区で警報基準値(開始:5.0人、終息:2.0人)を超えている。(報告が多い定点 高畠町:19.0人、天童市:7.0人、長井市:7.0人、東根市:5.0人、山辺町:5.0人)
- インフルエンザは、第25週以降報告が無かったが、今週は置賜地区から2名、庄内地区から1名報告された。迅速検査の結果、型別はいずれもA型であった。患者の年齢は、5歳が1名、40～49歳が2名。
- 結核は、村山地区から患者1名、疑似症患者1名(いずれも東南村山)、庄内地区から患者1名(田川)報告された。
- レジオネラ症の患者が、村山地区から2名報告された。
- 第26週分の報告として、クロイツフェルト・ヤコブ病(病型:古典型ほぼ確実)の患者が村山地区から1名報告された。

(8月3日現在 山形県衛生研究所)